

## 式 辞

春のような陽気と身を切るような冷え込みとが不規則に続いていましたが、ここにきて優しい春の息吹をそこかしこに実感できる弥生3月を迎えました。

本日ここに令和7年度卒業証書授与式を執り行うことができますことは、私ども教職員にとりまして、大きな喜びでございます。ご多用中にもかかわらず、ご臨席賜りました月が丘、朝日が丘の各自治会関係者の皆様、学校評価委員の皆様、学園関係者の皆様、また保護者の皆様に心より厚くお礼を申し上げます。

保護者の皆様、お子様のご卒業誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。ただ今の呼名点呼を、それぞれ万感の思いで受け止められたのではないかと拝察いたします。人生の中で非常に多感な3年間を、時に厳しく、時に包み込むような優しさで見守りいただきましたこれまでのご配慮に対し深く敬意を表しますとともに、3年間本校の教育に多大なご支援とご協力を賜りましたことにつきまして改めて厚くお礼申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与いたしました普通科218名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。3年間にわたる地道な取り組みが実を結び、ここに晴れて卒業の日を迎えられたことに心よりお祝い申し上げます。

「結果を求めにいくための厳しい勝負に足を踏み入れるには、覚悟が必要です」進路指導部発刊の「進路の手引き」の巻頭に書いたことです。人は人生で何度か、この「覚悟」をもって事にあたらなければなりません。皆さんが目の前にした自己実現への道もその一つであったと思います。もちろん「覚悟」をもった取り組みであっても、事が成就するかどうかはわかりません。それでも、覚悟を決めた実行は、間違いなくあなたの人間力を大きく高めたことと思います。ここで培われた力がこの先を切り開いていくための大きな財産になるはずです。「あきらめない夢は終わらない」手引きの巻頭をそう締めくくりました。貴重な財産を糧に、更なる一步を踏み出してほしいと思います。

ところで、皆さんが過ごしたこの3年間は、パンデミックが過ぎた後の「いつもの日常への回帰」に始まり、生成AIの驚くべき進歩、国内では日増しに深刻化する労働力不足や急激な物価高、海外に目を向ければ、国際社会の再編といった、社会的に構造が大きく変化していく日々でした。とりわけ「ChatGPT」に代表される生成AIの普及は、世の中の色合いを劇的に変えていっています。さらに、スマートフォン等の情報端末も、もはや電話やメッセージ機能などではなく、仕事も含めた日々の生活の主演となっています。ややもすれば、「思考すること」より、断片的な情報を整理し、AI機能を使いこなす能力が優先さえされそうな勢いです。世の中に順応する力は、それはそれで必要です。時代を受け止め、生き方を学ぶことも必要になります。一方で、容赦なく流れ込む膨大な情報を仕分けながら使いこなすことが余儀なくされると、人はほんの少しも立ち止まれなくなるように思います。

今年の元日の新聞の一面にはこんな見出しがありました。「あなたは人間ですか」副題として「AIではない証明 虹彩を見極める目玉」とありました。私には衝撃でした。この記事は単に本物の人間として「認証する」ための虹彩を取り上げただけでなく、この先を生きる次世代への生き方にかかわる根源的な問いかけのようにも思われました。正直怖さを覚えました。論理とデータだけが社会を扇動していく危惧からくる怖さでした。しばらくして、今度はこんな記事を目にしました。青春21文字のメッセージ 優秀賞作品です。「今日だけ紙切符 思い出を持ち帰りたくて」令和とデジタルが同質の表現として受け止められる中で、心がほっとするひとときでした。人として立ち止まりを実感できる空間をもつことは、これからの社会で大切にしてください。「氷が解けたら」の解答が「水になる」ではなく、「春がくる」、そういう気持ちが自然と湧き上がるような思いも魅力的だと感じて

ほしいと思います。この「春」という解答は想像力です。物事の先にいる誰かを思い浮かべ、そこに自分を重ねてみるのだと思います。そしてそういう姿勢が、小さな優しさだったり些細な気遣いをもたらしてくれるに違いありません。一見、大きなうねりをもって派手に時代が進んでいく中で、このささやかだけれども温かい心根が、人との関係を創り上げていくのだと信じています。私はここに「あなたは人間ですか」の答えがあるように思っています。

ここで、もう一度、保護者の皆様に一言ご挨拶申し上げます。

高校卒業を境に、社会での立ち位置は大きく変わっていきます。そしてその社会も、益々不透明感に包まれていくことでしょう。そのとき、立ち止まれないことが一番の心配です。そんな時、子どもたちに、十分な依存先があれば、安心して悩むことが出来るに違いありません。「自立」へのステップは、適切な依存先が保証されているものです。このことは、折に触れて本校進路指導部からお話ししてきました。今回卒業に合わせて発刊されたPT通信の「保護者メッセージ」に目を通しましたが、その一つひとつから温かな依存空間があることを確信しました。今後のご家庭が更なる飛躍のための貴重な依存先であり続けていただけるようにと、お願い申し上げます。

卒業生の皆さん、いよいよ次なる舞台があなた方の前にあります。これまでの学びに何一つ無駄はありません。大切なことは、「選んだ道を正解にする」ことだと思います。皆さんは、きょうを区切りに、前だけを向いて進んでください。そのとき、何より愛おしんでほしいのは、あなた自身の存在です。今の自分を大切に、自分のペースで生きていってください。何より命を大切に健康に留意され、「私らしく」素敵な道を進まれることを期待し、皆さんの前途に幸多かれと祈念し、『式辞』といたします。

令和8年3月2日

学校法人純美禮学園

滋賀短期大学附属高等学校長 小林昌彦